

のり海況速報 第3報 (24-3)

平成24年10月18日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/15：内湾(わかふさ)、10/16：内房北部(わかふさ)
 関東・東海海況速報(10/1-18)、東京湾口海況図(10/1-18)
 拓南観測データ(10/11-18)

【水温・塩分の状況】

先月末頃から急激に降下した内湾の表層水温(図1)は全域で20℃後半～21℃台で、ほぼ横這い状態となっています。塩分は30～32台で、千葉県側では依然平年より高めになっています。また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)をみると、水温は表層と底層の水温差が小さくなっていますが、塩分はまだ弱いながらも成層状態を示しています。

内房北部の表層水温もほぼ横這い状態で、21～22℃台前半になっています。

しかし、東京湾口への沖合水の流入はいまのところ小康状態になっていますが、黒潮の接岸傾向が依然継続していますので、この動きには注意が必要です。

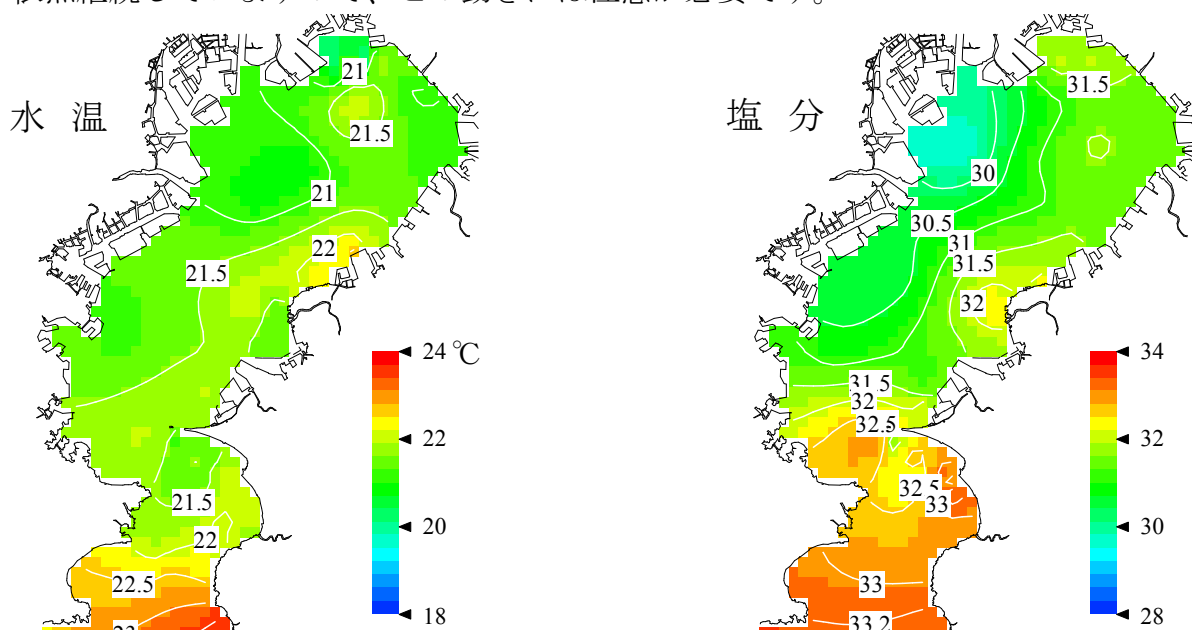


図1 表層の水温・塩分の分布(平成24年10月15, 16日)

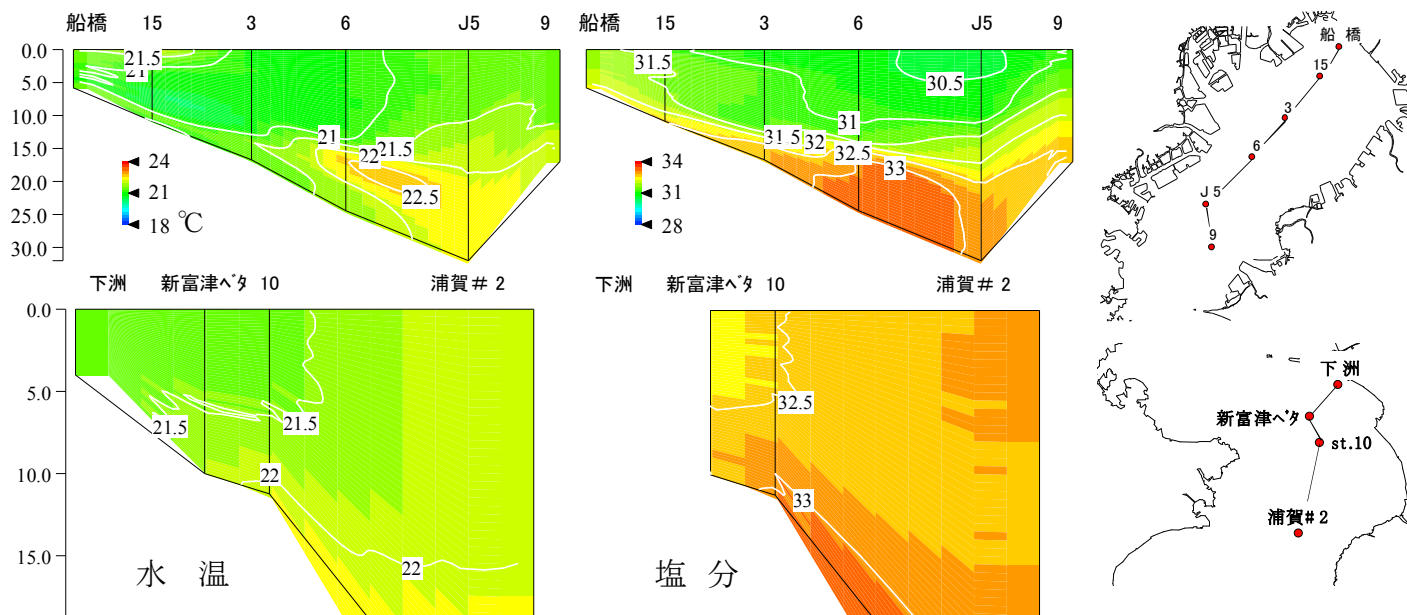


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年10月15, 16日)
 (上：内湾(10/15)、下：内房北部(10/16)、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は全域で発生していません。pHは8.0～8.2の範囲にあり、透明度は大貫から湊地先にかけてやや低くなっていますが、おおむね6m以上あります。水色は緑から青緑色で、プランクトンも非常に少なく、渦鞭毛藻類がわずかみられる程度でした。

表層の栄養塩(図3)は大貫及び湊ベタ流し漁場付近で窒素(DIN)がやや少なくなっていますが、ほぼ全域で十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度となっています。

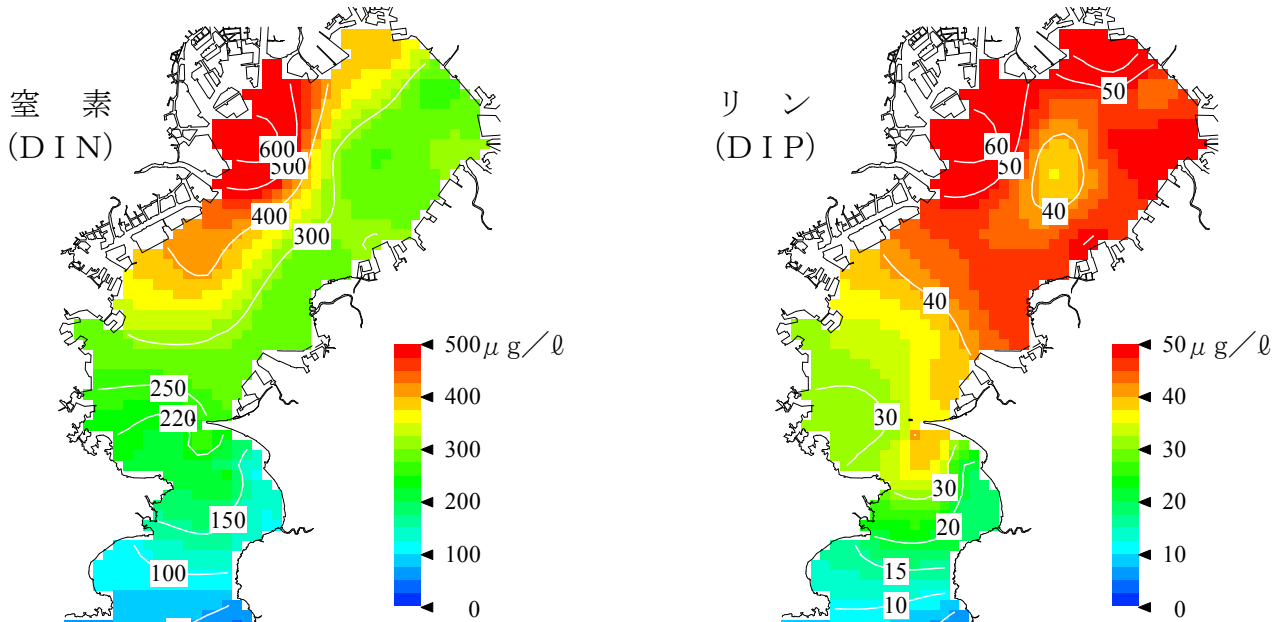


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成24年10月15, 16日)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html